



高校生ICT Conference2016について

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

INDEX

1. 高校生ICT Conference概要

- 開催目的
- 高校生ICT Conference が目指すもの
- 開催概要
- 高校生ICT Conference の歩み
- 今後の展開

2. 2016年度 協力体制

1-1.高校生ICT Conference概要

本事業は事業者団体・企業・有識者・関係府省庁が連携し、青少年のインターネット利用環境整備を目指した事業として2011年より毎年度、開催。

開催目的

①教育的側面

初対面の人と話し合うという経験を通じ、「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術習得

②社会的背景

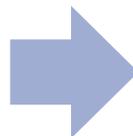
インターネットやスマホ等を安心して安全に使うために自ら考え、実践することで、将来のよりよいインターネット利用環境の構築を目指す

1-2.高校生ICT Conferenceが目指すもの

高校生ICT Conferenceは、次世代の社会を支える高校生が、自ら考え、他者の意見を聴き、議論し、意見をまとめ、発表することにより、将来のインターネット社会に臨む環境整備の一助になることを目指す。

啓発活動における課題

- セミナーやシンポジウム形式に対する理解度・興味の薄れ
- 保護者層の参加率の低さ
- 自己責任に対する意識の希薄



- ネットが分からず対応できない保護者
- 操作能力が高く、安易にネットを利用する高校生
- 知識・経験が不足してトラブルに巻き込まれる小・中学生

大人からのおしつけでなく当事者の高校生が考える

負のスパイラルから正のスパイラルへ

「高校生ICT Conference」が持つ3つの意味

- 当事者である高校生自身の気づき
- 年少の子どもに行動できる高校生の育成
- 次世代の保護者の育成



- リテラシーを持って子どものネット利用に目を配ることができる保護者
- リテラシーに加え、情報モラルを獲得した高校生
- 身の回りにすぐに相談できる小・中学生



小・中学生



高校生



大人

1-3.高校生ICT Conference開催概要

2016年度テーマ

ネットトラブル! どうする?【予防】と【対策】 ～トラブルに巻き込まれないために、巻き込まれたら～

(参考)

2013年度 「考えてみよう! 情報モラル・情報リテラシー教育の5W1H」

2014年度 「考えよう! これからのスマートなネットの使い方・あり方」

2015年度 「言いたい! イマドキのネットのルール&マナー!! ～ 高校生のボクたちだから ～」

開催日程

・ 各地域開催 (4月～10月)

各地でワークショップ (議論を重ねる熟議方式) 形式の議論を実施し、代表者1名を選出
※2016年度予定: 全14箇所～札幌、帯広、宮城、長野、新潟、石川、神奈川、東京、静岡、大阪、奈良、高知、福岡、大分

・ サミット(東京・11月3日(木)) 各地での議論をもとに、高校生が政府への提言をまとめるための討議を実施し、代表者2名選出

※地域独自の高校生ワークショップイベントからの招待もあり (福井、沖縄)

・ 最終報告会(東京・12月14日(水))

共催府省庁に高校生からの提言を発表、意見交換

2016年度.各地開催結果

のべ (107校) (476名) (533名)

場所	日時	場所	学校数	生徒数	大人
札幌	2016年10月16日 (日)	札幌ユビキタス協創広場U-cala	6	41	30
帯広	2016年10月15日 (土)	とかちプラザ	5	30	22
宮城	2016年8月22日 (月)	東北工業大学 一番町ロビー	4	16	24
石川	2016年9月19日 (月)	石川県女性センター	7	26	29
長野	2016年10月1日 (土)	安曇野市明科公民館	12	42	43
新潟	2016年8月20日 (土)	ガレソンホール	6	32	40
東京	2016年9月4日 (日)	東京ユビキタス協創広場 CANVAS	6	20	51
神奈川	2016年9月11日 (日)	岩崎学園	11	53	52
静岡	2016年9月25日 (日)	中村学園	6	22	26
大阪	2016年8月28日 (日)	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS	10	43	42
奈良	2016年10月2日 (日)	帝塚山大学 東生駒キャンパス	7	30	44
高知	2016年8月23日 (火)	ちより街テラス	4	31	10
福岡	2016年8月18日 (木)	アクロス福岡	12	43	46
大分	2016年10月2日 (日)	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ	11	47	74

※東京サミットは11月3日 (祭) 開催済み、府省庁最終報告会は12月14日に実施予定。

1-4.高校生ICT Conferenceの歩み



2011年度

- 第1回 熟議テーマ「ネットとケータイの問題点」
- 第2回 熟議テーマ「私たちにとってのケータイ、インターネットとは」
- 第3回 熟議テーマ「これからのネットとケータイを考える」
- 開催場所 大阪 参加生徒 11校 52人



2012年度 「スマートフォン時代の情報モラルと利活用」

- 第1回 「スマホって何？」
- 第2回 「スマホ時代のネットの在り方・使い方」
- サミット 「高校生が考えるスマートフォン時代の情報モラルと利活用」
- 開催場所 東京・大阪 参加生徒 17校 79人



2013年度 「考えてみよう！情報モラル・情報リテラシー教育の5W1H」

- 第1回 「何が知りたい？！情報のモラルとリテラシー」
- 第2回 「高校生だからできる『情報モラル・情報リテラシー教育』」
- サミット 「考えてみよう！情報モラル・情報リテラシー教育の5W1H」
- 開催場所 北海道・東京・奈良・大阪・大分 参加生徒 51校 267人



2014年度 「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」

- 第1回 「小中学生に伝えたい 情報モラル」
- 第2回 「2020年のICT環境を創造する」
- サミット 「考えよう！これからのスマートなネットの使い方・あり方」
- 開催場所 北海道・東京・奈良・大阪・大分 参加生徒 44校 221人



2015年度 「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～ 高校生のボクたちだから～」

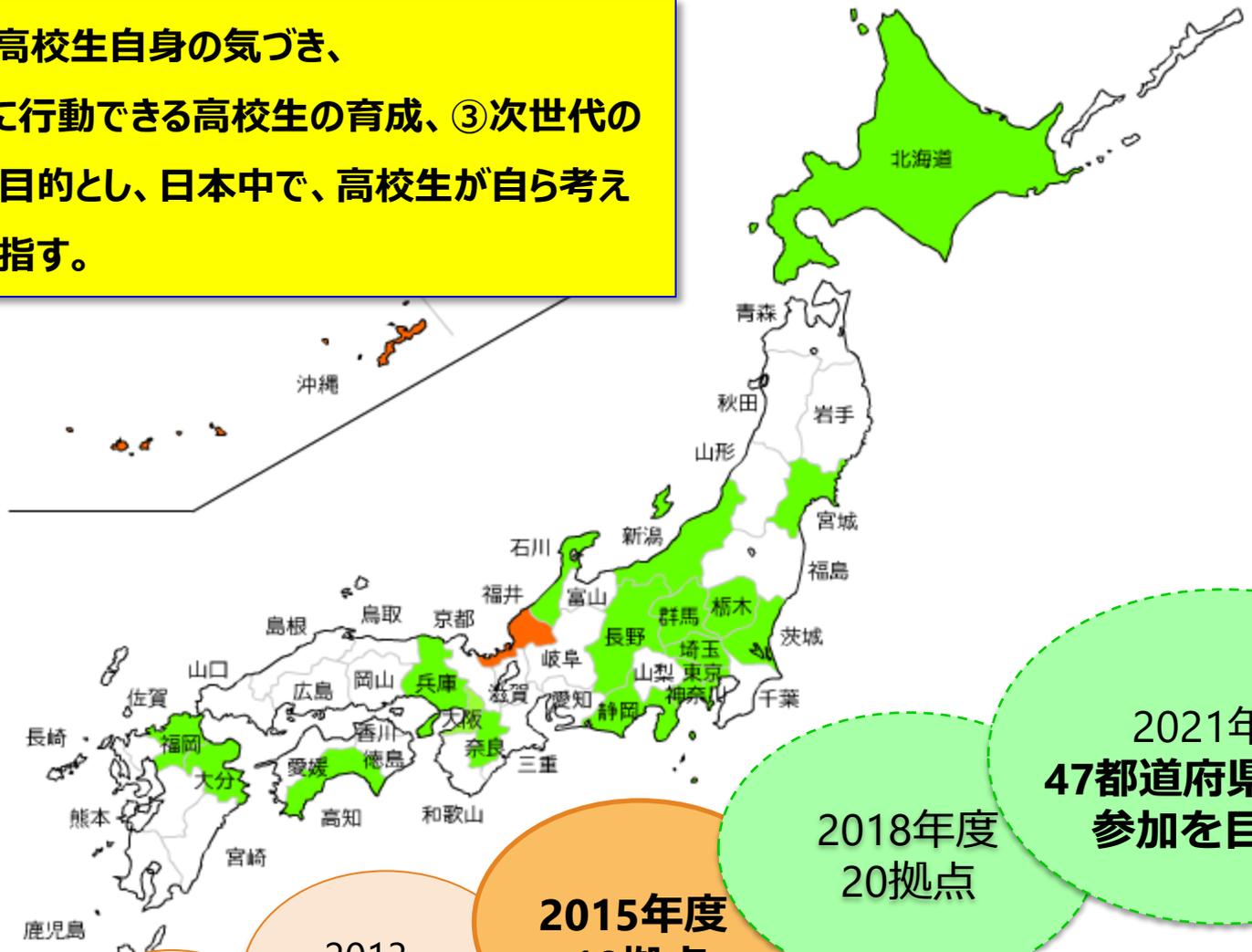
- 第1部 「大人のルール&マナー」
- 第2部 「大人が作った子どものルール&マナーを考える」
- サミット 「言いたい！イマドキのネットのルール&マナー！！～ 高校生のボクたちだから～」
- 開催場所 北海道・長野・石川・神奈川・東京・大阪・奈良・福岡・大分 参加生徒 78校 310人

(参考) 実施会場風景



1-5.高校生ICT Conference今後の展開

- ①当事者である高校生自身の気づき、
- ②年少の子どもに行動できる高校生の育成、③次世代の保護者の育成を目的とし、日本中で、高校生が自ら考える環境づくりを目指す。



2011年度
1拠点

2012年度
2拠点

2013、
2014年度
5拠点

2015年度
10拠点

2018年度
20拠点

2021年度
47都道府県からの
参加を目指す

2016年度 協力体制

高校生ICTカンファレンス実行委員会

委員長：

米田 謙三 （大阪私学教育情報化研究会）

事務局：

安心ネットづくり促進協議会

モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

主催：安心ネットづくり促進協議会、大阪私学教育情報化研究会、一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構、一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

長野県教育委員会（長野のみ）、福岡県青少年インターネット適正利用推進協議会（福岡のみ）、大分県、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所<大分のみ>、特定非営利活動法人NPO情報セキュリティフォーラム（神奈川のみ）、仙台城南高等学校（宮城のみ）

共催：内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

十勝毎日新聞社（帯広のみ）、みやぎのICT教育研究専門部会（宮城のみ）、新潟県サイバー脅威対策協議会（新潟のみ）、いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会（石川のみ）、学校法人中村学園専門学校静岡電子情報カレッジ（静岡のみ）、帝塚山大学（奈良のみ）、大分県教育委員会、大分県高等学校PTA連合会（大分のみ）

協賛：グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE株式会社、エースチャイルド株式会社、株式会社メディア開発綜研、Twitter Japan株式会社、一般社団法人情報教育研究所

後援：一般社団法人全国高等学校PTA連合会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所、全国高等学校情報教育研究会、他、各開催地域の教育委員会、高等学校PTA連合会、高等学校長協会等

協力：アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社NTTドコモ、KDDI株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、株式会社朝日出版社、ストップイットジャパン株式会社、河合塾（順不同）